

十一月二十九日・三十日

やまびこ三番叟

越後魚沼干溝歌舞伎保存会

三番叟はもともと能の「翁」を歌舞伎化したものです。「天下泰平」、「五穀豊穰」を祈念して踊られています。この『やまびこ三番叟』は、干溝十二山神社の山の神を題材に、干溝歌舞伎のために作詞、作曲されたもので、三辨清次郎師匠により振付され、平成二十年十二月七日に初演、好評を博しています。

配役 舞手 戸田 恭平(高二) 舞手 松本清志郎(高二)

十一月二十九日

松づくし

今泉民俗芸能保存会

松づくしは江戸時代の末期、魚沼地方に伝わり各集落ごとに独自の唄の節まわし、踊りに変化し目出度い唄として今に受け継がれているものと思われまます。今泉でも以前は一升榎や高台の上で片足になり見事な一本松が踊られていたようですが、若手に伝授されないまま幻になろうとしています。

現在は三本松・五本松として引き継がれ、祝いの席や芸能祭に踊っています。

一人が五本の扇を額・口・手・足で操り、松の枝を表現します。真の松を中心に末広がりの見事な枝が茂るよう精一杯踊ります。どうぞご覧ください。

十一月三十日

大の阪

国重要無形民俗文化財

大の阪の会

「大の阪」は、一名念仏踊りと言われ、各歌詞ごとに「南無西方」の言葉が入り、節も御詠歌調で左回りで踊ります。手足の動きは緩やかで古風な優美さが特徴です。

堀之内の八幡宮の境内に高さ約7mの櫓を組み、八月十四・十五・十六日の三日間踊られています。

十一月三十日

若宮八幡宮太々御神楽

若宮八幡宮 神楽保存会

南魚沼市一村尾 若宮八幡宮に伝わる太々御神楽、その発祥は詳らかではありませんが、江戸時代は宝暦年間(一七五〇年頃)には、既にお祭りにおいて七ヶ八座の簡単な神楽と湯の花の御神事が奉納されていたようで、この形がおよそ百数十年続いて参りました。

その後、地元出身の彫刻師 北川岸次(きたがわ がんじ)が、一村尾の小林吉輝(こばやし よしてる) 宮司宅に身を寄せ、慶応元年(一八六五) から二ヶ年をかけて二十七の神楽面を彫り上げました。小林宮司は御神楽の再編に取り組み、地元若者を舞子として十数年もの歳月をかけて修練し、ようやく明治二十六年(一八九三)の例祭において、現在の形となって第一回目の奉納が盛大に執り行われました。

戦中戦後の混乱期には舞子の数が七人まで減少。その後もライフスタイルの多様化などにより、その存続が危ぶまれた時期もありましたが、先人の「御神楽を途絶えさせてはならない」という強い思いにより一年も休むことなく、本年度で百二十二年を迎えます。

十一月三十日

義経千本桜

塩沢歌舞伎保存会

兄頼朝に追われる身となった源義経は流浪の旅に出る。後を追った静御前は伏見稲荷で追いつくが同行が叶わず、形見に初音の鼓を渡され佐藤忠信がお供することとなる。

ここは櫻花絢爛の吉野山、ふと気付くと忠信の姿が見えない。静が鼓を打つと忽然と忠信が現れる。実は忠信は狐の化身、初音の鼓は狐両親の皮でつくられたものだった。二人は義経を追慕し合戦の模様を再現したりする。そこへ、鎌倉方の逸見の藤太が軍兵を連れてやってくる。忠信は狐の法力で軍兵達をほんろうする。その隙に静御前は義経を追い下って行く。最後は忠信も狐の姿となり狐六法で静を追いかける。

配役

佐藤忠信 関 正幸 花四天 星野 弥咲(小四)
静 御前 塩谷 麗華(中一) 花四天 阿部 愛叶(小五)
逸見藤太 中沢 晃 花四天 星野 穂波(小五)
花四天 黒田 福恵(中二)

十一月三十日

白浪五人男

稲瀬川勢揃いの場

越後魚沼干溝歌舞伎保存会

幕が開くと一人ずつ花道に登場します。花道でのわたり台詞のあと、正面の稲瀬川堤に五人が移動します。

「問われて名乗るもおこがましいが」「さてその次は江の島の岩本院の稚児上がり」「さてどん尻に控えしは一念仏嫌えな南郷力丸」など美文調のせりふが心地よい有名な演目。今回は子どもたちによる白浪を披露致します。ご期待ください。

配役

日本駄工門 渡辺 漸(小五) 赤星十三郎 大久保 玲(小四)
弁天小僧菊之助 大久保 結(小五) 南郷力丸 富永 耀汰(小四)
忠信利平 駒形 神(小三)

十一月三十日

源平布引滝

越後魚沼干溝歌舞伎保存会

源平争乱の、幕あきを描いたお芝居。全段通してのあらすじは、平治の乱で源氏が負けた後、源氏に心を寄せる人々や、隠れた忠臣に守られながら誕生した「木曾義仲」が、木曾の山の中で成長して平家を倒すべく、都に攻めあがるまでの物語で、お話の力ギになるのは源氏の「白旗」です。

「義賢最期」は、木曾義仲が生まれる前の部分で、父親の「木曾先生義賢」が主人公です。大詰の激しい立ち回りが有名な見どころ。「戸板倒し」、「仏倒れ」といった息を呑むような演出をお楽しみください。

配役

木曾先生義賢 大平 均 吉田ノリ子
下部折平 樋口 光 阿部 良子
葵御前 佐藤力オル 星 利正
待宵姫 星野 邦子 富永 一夫
九郎助 大平 進 横山 勝範
太郎吉 大平 心暖 富永 恒廣
高橋判官長常 関 一之 関 亮太郎
長田太郎末宗 外角 誠 戸田 恭平
矢走兵内 富永 和弘 松本清志郎
進野次郎宗政 橋 誠 小軍 万

